

研究短報

No. 69
2001年1月



着果作業のいらぬおいしいトマトを開発

民間の種苗会社との共同研究で、新しいトマト品種「ルネッサンス」(商品名)を育成、種子の供給が始まりました。

従来の品種は実をつけさせるのに、ホルモン処理や訪花昆虫による受粉が必要でした。今回開発した品種は、単為結果性という受精しなくても実が肥大する特徴があり、省力栽培が可能です。また、完熟で収穫でき、糖度が高くおい

しいトマトです。やや小ぶりで、空洞がなくずっしりとした重みがあり、その上、いびつになりにくく、きれいな形にそろいます。さらに、萎ちょう病、根腐れ萎ちょう病、ウイルス病に強いので、農薬の使用量が減らせます。

温室やハウス栽培、中山間地での夏秋栽培に適しています。

(園芸研究所)